

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年12月10日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	高山市	代表者名	國島 芳明
担当者部署	行政経営課	連絡先電話番号	0577-35-3040
担当者役職	主幹	担当者氏名	山田 雅彦
住所	506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	連絡先部署	連絡先電話番号	連絡先E-mail
担当者氏名			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	若手DX推進部会員20名を対象に、デジタル庁での勤務の様子や、そもそもデジタル社会とはといった示唆に富む内容で話題を提供いただいた。
アドバイザーへの要望事項	大変お忙しい中、充実した内容の講義をいただき、ありがとうございました。次回は12/15に、全庁職員へのDXの講義をいただきますが、よろしく願いいたします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年12月9日	15時00分	16時00分		60
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

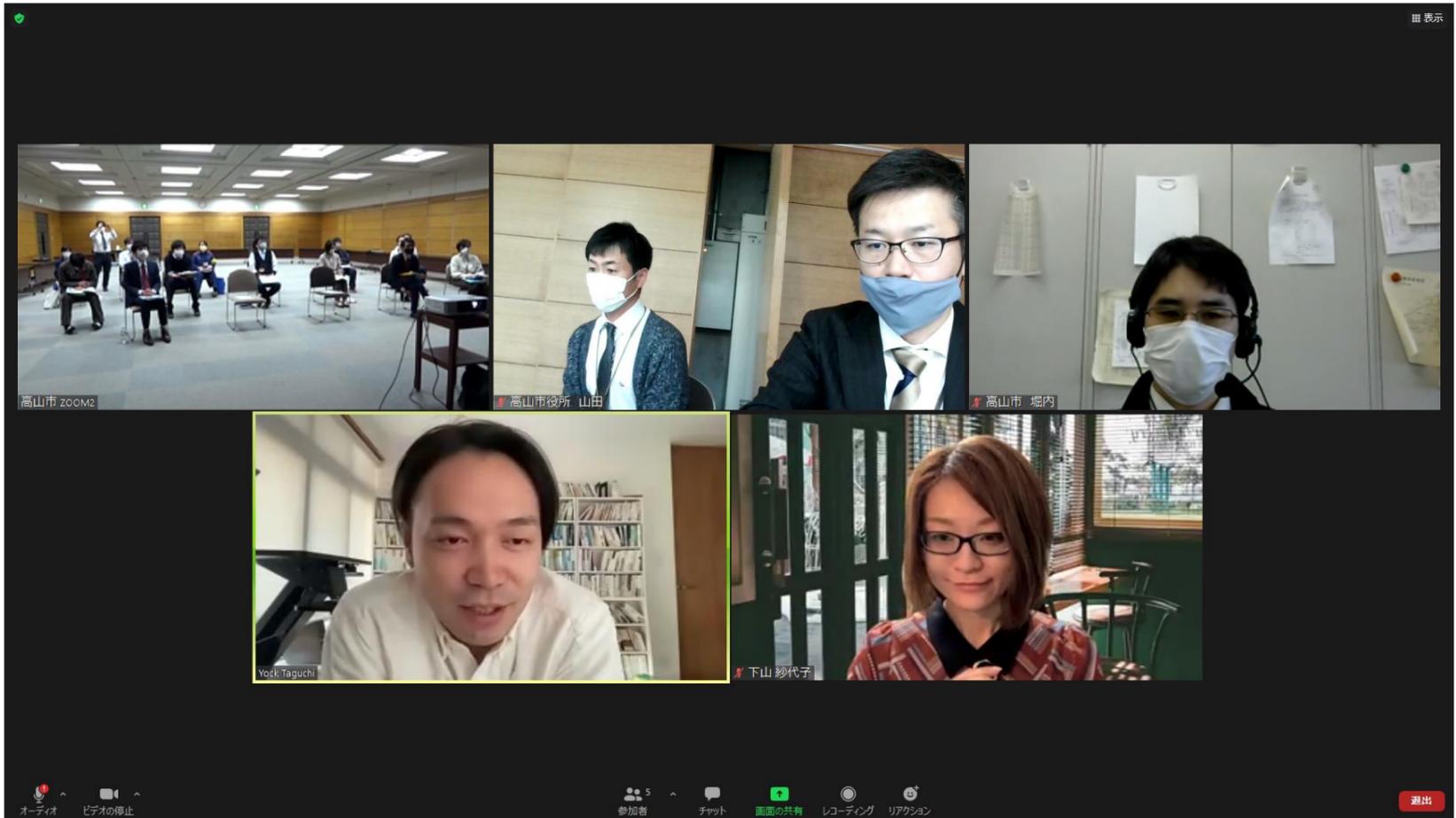
掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員(DX推進部会員)	20人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	高山市職員(DX推進部会員)が、デジタル社会で取り残されず仕事をしていくための考え方を身につけたい。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	デジタル社会で業務をこなし、住民サービスを維持していくための考え方を身につけ、主体的に動き、職場で率先して動くことができる。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	デジタル技術を使うメリット、デジタル庁の様子、デジタルデバインドの考え方、データ品質管理の重要性などを丁寧に講義いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	参加した職員の知識の蓄積、考え方への好影響	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 DX推進部会員の意識啓発がなされ、人材育成につながった。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは行っていないが、事後の意見交換において、データの正確性の重要性や講義への感謝の声が多数聞かれた。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	全庁職員向けにDXに関する基礎的な研修会を行い、今後のDX推進の基礎知識の習得や前向きな取組み姿勢をもった職員の増加	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



デジタル田園都市国家構想の取組イメージ（デジタルからのアプローチ）

出典：デジタル田園都市国家構想実現会議（第

Sayoko Shimoyama, LinkData